

学校図書館セット貸出し

東アジアセット

East Asia

小学校高学年向



国立国会図書館

国際子ども図書館

この冊子は、学校図書館セット貸出し「東アジアセット」（小学校高学年向）の解説です。

児童生徒を指導する際の参考にご利用ください。

絵本

あかいきしゃ[キヨック][ニウン][ティグッ]: はじめてであう ハングルの絵本

パク・ウニョン 絵・文 おおたけきよみ 訳
アートン 2004 年

ハングルの文字の絵本。赤い汽車が進んでいく構成になっている。ハングルにはカタカナ読みがふられているのでハングルをより身近に感じることができるだろう。巻末にハングル表あり。

きょうはソンミのうちにキムチをつけるひ!

チェ・インソン 文 パン・ジョンファ 絵 ピョン・キジャ 訳
セーラー出版 2005 年

韓国にはひと冬に食べる分のキムチを秋の終わりに大量につくる「キムジャン」という行事がある。キムジャンの日、家族や近所の人たちとキムチをつけるソンミとねずみたちの様子が愉快地描かれている。巻末にはキムチの歴史と数種類のキムチの写真が掲載されており、習俗、食べ物理解に役立つ。

くらやみのくにからきたサブサリ

チョン・スングク 絵・文 おおたけきよみ 訳
アートン 2004 年

까막나라에서 온 삼사리 (ハングル)

정승각글·그림
초망책방 1994

韓国の絵本。光がなくて困っていた暗闇の国の王さまのために火を持ち帰ろうとし、太陽と月にかみついた犬から、黄金に光る黄サブサリと青く光る青サブサリが生まれた。サブサリという韓国固有の犬の由来について韓国に伝わる昔話をもとに現代韓国を代表する絵本作家が創作した物語。話には青龍や朱雀なども登場し、東洋に古代から伝わる宇宙観と韓国の神話的世界を知ることができる。

スグンガ

水宮歌: こどもパンソリ絵本

イ・ヒョンスン 文 イ・ユッナム 絵 おおたけきよみ 訳
アートン 2004 年

パンソリは韓国の伝統芸能の一種で、物語を歌いながら語る歌い手と太鼓奏者の二人で演じられる。この本はパンソリ「水宮歌」から抜粋して、元々のパンソリと解説文を足して絵本にしたもの。竜宮の王からウサギの肝を取ってくるように命ぜられた使いのカメがウサギの知恵にやられてしまう話で、類話は、インドや日本の昔話にもある。絵は鮮やかな色彩で描かれている。小学 6 年生の男子がパンソリを歌う CD 付。

ちょうちんまつり

唐亜明 文 徐楽楽 絵
木城えほんの郷 2003 年

中国の仙人の昔話からの再話。ちょうちん祭の日に男が碁を打つ仙人に会い、ほんの 1 時間過ごしたと思っていたら何百年も経ってしまい、故郷は変わり果て家族もいない。もう一度仙人に会った男は龍の吐いた水を取り、月のウサギから「ふしぎの木の実」をもらって家族のもとへ帰ることができた。画家の徐楽楽は、第 1 回中国全国幼時図書・絵画コンクールでグランプリを受賞している。

とらとほしがき: 韓国のむかしばなし

パク・ジェヒョン 再話・絵 おおたけきよみ 訳
光村教育図書 2006 年

昔、山奥に住むとらが、牛を食べようとふもとの家の牛小屋にしのびこんだ。自分こそこの世の王であると信じていたとらだったが、そこで、干し柿がたいそう恐ろしいものだと思い込んで怖くなり、さらに泥棒も現れて……。韓国で語りつがれてきた昔話を、伝統の民画風の絵で描く。日本の昔話にも「ふるやのもり」などの類話がある。

ねずみのおよめいり

モニカ・チャン 文 レスリー・リョウ 絵 高佩玲 訳
河出書房新社 1994 年
老鼠娶新娘 (台湾語)

張玲玲 文 劉宗慧 圖

遠流出版 1992

猫におびやかされているねずみ村の村長さんは、猫より強い婿を迎えたいと考える。太陽に娘の婿になってくれと言うと、雲が太陽を隠してしまう。そこで村長さんは、今度は雲に声をかけて…。台湾の画家の美しい絵が映える大判の昔話絵本。

マンヒのいえ

クォン・ユンドク 絵と文 みせけい 訳

セーラー出版 1998 年

만희네 집 (ハングル)

권윤희글·그림

길벗어린이 1995

マンヒはお父さんとお母さんと、せまいアパートに住んでいたが、ある日、おじいちゃんとおばあちゃんの住む広い家に引っ越す。マンヒのモデルは著者の息子、家も実際の家を描いたという。各部屋や庭などの様子が細かく描かれ、韓国の日常を見ることができる。

モンゴルの黒い髪

バーサンスレン・ボロルマー 絵・文 長野ヒデ子 訳

石風社 2004 年

モンゴル人のイラストレーターがモンゴルに伝わる民話を基に創作した絵本。モンゴルの遊牧民におそいかかる敵を女性たちが結い上げた髪で追い払う。「ゲル」と呼ばれるモンゴルの移動式住居の内部や昔のモンゴル人女性の服飾が鮮やかな色彩で描かれており、当時の暮らしを具体的に想像することができる。モーリン・フル（馬頭琴）を囲んで家族が集まる、モンゴルの伝統的な暮らしがうかがえる。

ヤンヤンいちばへいく

周翔 作 文妹 訳

ポプラ社 2006 年

荷花镇的早市（中国語）

周翔 文/图

二十一世纪出版社 2006

おばあちゃんの誕生日を祝うために田舎にやってきた都会育ちの男の子ヤンヤンは、早朝、メイおばちゃんと船で市場へ向かった。物売りやお芝居の声で活気に溢れ、人々の心の触れ合いのある市場。そこに惹かれていくヤンヤンの様子が淡く温かな色彩で伝えられる。著者が自身の幼年時代を思いながら 5 年の歳月をかけて描いた、日中同時出版の絵本。

けものたちのないしょ話：中国民話選

君島久子 編訳

岩波書店 2001 年

中国のさまざまな民族に語り伝えられた民話 27 編を収録。中国の広大な土地と多民族性、また話の豊かさが感じられる。中国の民話の中でも特に面白いものを選び、わかりやすく再話。1 話の長さが程よいので、子どもたちにも読みやすい。クラスで読み聞かせをするのも良いだろう。解説には各話のあらすじが付されている。

白いりゅう黒いりゅう

賈芝、孫劍冰 編 君島久子 訳 赤羽末吉 絵

岩波書店 1964 年

黒いりゅうに息子を奪われた大工が、村人と力を合わせて白いりゅうを作り、ついには黒いりゅうを滅ぼす「白いりゅう黒いりゅう」（パイ族）、穀物の種を求めて旅に出たアチョ王子が、蛇王から種を盗み、犬にされてしまう「犬になった王子」（チベット族）など、中国の少数民族に伝わるドラマチックな昔話 6 編を収録。

ネギをうえた人

金素雲 著

岩波書店 2001 年

人間が牛に見えるため、人間同士が食べあっていたが、ネギを食べることで人が人として見えるようになる表題作「ネギをうえた人」、一面の泥沼だった世界に海や山ができたわけを語った「山や川」など、朝鮮の民話 33 話を収録。

知識の本

写真でたどる中国の文化と歴史（「知」のビジュアル百科 23）

アーサー・コットレル 著 佐々木達夫 日本語版監修 中村慎一 訳
あすなろ書房 2006 年

中国文明は現在まで絶えることなく続いた世界最古の文明である。中国で生まれ世界を一変させた発明品である紙、印刷術、火薬、羅針盤等。「三絶」として知られる書、詩、画。漢方薬や鍼術といった中国医学。農村や都市の生活。これら中国の豊かな文化と歴史を、紀元前 1650 年の商の時代から現在まで約四千年にわたり、主に美術品の写真を用いて紹介している。巻末索引あり。

日本とのつながりで見えるアジア過去・現在・未来

第1巻 東アジア 1 仲尾宏 著

第2巻 東アジア 2 江里晃 著

岩崎書店 2003 年

神話や伝説が語る建国の時代、それに続く繁栄の時代、列強による侵略と内戦、そして現在。写真やキーワード解説が豊富で、各国・地域の地理と歴史がよくわかる。朱印船貿易や太平洋戦争など、日本とのかかわりについても詳しく触れられている。

韓国まるごと大百科：国際理解に役立つ

1 韓国ってどんな国？ 佐々木典子 監修 渡辺一夫 文・写真

2 韓国の衣・食・住 金順玉 監修 吉田忠正 文・写真

3 韓国の子どもの暮らし 佐々木典子 監修 吉田忠正 文・写真

ポプラ社 2003 年

韓国のことならなんでもわかる！シリーズ5冊のうちの1-3巻。1巻は、韓国の国土や自然、政治、経済、南北の軍事境界線、大都市と地方都市、交通、農業、漁業、マスコミ、環境問題、医療、教育を豊富な写真やグラフを用いて1項目を2頁でまとめていてわかりやすい。

2巻は、衣食住を詳細にとりあげる。韓国料理は、焼肉やキムチのイメージがあるが、食卓には朝から驚くほどの皿数が並び、市場では食材の多彩さに目をみはる。住まいは、都会と地方をとりあげ、都会のマン

ション生活と地方の農村の暮らしを対比させる。服装では、現在でも着る機会の多い伝統的な衣服を紹介する一方、普段着の子どもたちの写真もあって興味深い。韓国の一般の人々の日常生活に触れることができる。

3巻は、子どもたちの一日の生活と年間行事を通して子どものくらしをみつめる。今や世界でも教育熱心な国として名高い韓国では、塾や習い事も盛んだが、その一方で伝統行事を大切にしている。子どもたちが好む菓子や家庭での様子も伝える。

中国（体験取材！世界の国ぐに 11）

吉田忠正 文・写真 丹藤佳紀 監修

ポプラ社 2007 年

悠久の歴史を持つ中国の今を紹介。高層ビルが林立する上海、水田と茶畑の江南の農村、マイナス 20℃になる東北の長春、雲南省の少数民族ナシ族の村、と様々な暮らしを取り上げる。子どもの学校生活では、小学校からある英語の授業、クラブ活動などを紹介している。資料編で歴史、基本データを概説する。

モンゴル（体験取材！世界の国ぐに 13）

吉田忠正 文・写真 小長谷有紀 監修

ポプラ社 2007 年

2006 年、建国 800 年を迎えたモンゴルを取材。総人口の三分の一が暮らす大都市ウランバートルでの生活と大草原での遊牧生活を対照的に伝える。小学校の授業風景や遊牧民の子どもたちの素朴な遊びから子どもたちの様子がわかる。また、モンゴル最大の国民祭「ナードム」など、華やかな文化も紹介。歴史、基本データを概説した資料編、索引付。

中国の友だち

佐藤郡衛 監修

学校図書 2000 年

中国最大の商工業都市上海の小学校に通う 5 年生の楊くんの生活を中心に、中国の子どもたちの暮らしを紹介する。学校の様子、遊び、お菓子など、子どもが興味を持つ題材を取り上げている。町の探検では、太極拳をするお年寄り、いろいろな食材を売っている市場、屋台、茶館など中国の人々の暮らしが実感できる。農村についても少し紹介されている。

韓国を知る Q&A115

朝倉敏夫 著

千里文化財団 2000 年

韓国の伝統的な衣食住や、宗教や音楽、舞踊などの文化、さらに今日の社会状況に関する 115 の質問に具体的に答えている。どの頁にも現在の街角や暮らしを伝える生き生きとした写真がある。国立民族学博物館の「朝鮮半島の文化」の展示を見開きで紹介している。

草原の子どもたち

北沢杏子 文 塩原日出夫 写真

アーニ出版 1998 年

モンゴル族の遊牧民の生活を紹介した写真絵本。移動式住居ゲルの建て方や、水や電気の引き方など、大草原での暮らしの様子がわかる。家から遠い小学校に通うために寄宿生活をし、週末になると家族が馬で迎えにくるという、子どもたちの学校生活にも触れている。

中国と出会おう

納村公子 編著

国土社 2000 年

文字や言語・中国語の歌、遊び、食べ物の作り方、中国茶のいれ方、食文化などが挿絵つきでわかりやすく解説してある。実際に武術のポーズをとったり、切り紙細工を作ったりして中国の文化を体験できる。また、西遊記・三国志演義などの物語が紹介され、さらに中国の古典や物語を読みたい子どもたちのために学年別のブックリストも紹介されている。

韓国伝統文化事典：カラー日本語版

国立国語院(韓国) 編 三橋広夫, 趙完済 訳

教育出版 2006 年

韓国文化の基礎用語 233 語を、「料理」「服飾」「住まいと暮らし」「韓国人の一生と歳時風俗」「民俗信仰」「趣」「象徴と特産物」の 7 章に分けて解説。事典とあるが、一用語につき 2 頁をさいて解説し、カラー写真が豊富で、説明も分かりやすい。関連する諺も紹介する。巻末に五十音順の索引あり。

北朝鮮の日常風景

石任生 撮影 安海龍 文 韓興鉄 訳

コモンズ 2007 年

北朝鮮について私たちが思い浮かべる映像といえば、金正日と統制された軍隊のパレードぐらいであろう。それ以外の映像はほとんど目にする機会もない。この本には、著者である写真家が仕事で滞在した間に、厳しい監視をかいぐり撮影した、北朝鮮の普通の人々の日常生活や風景が、詳細な説明文と共に記録されている。北朝鮮の飾らない姿の描写は、そこに私たちと同じ様な人々が暮らしていることを伝えている。

ソルビム：お正月の晴れ着

ペ・ヒョンジュ 絵・文 ピョン・キジャ 訳

セーラー出版 2007 年

オモニ(お母さん)が一針一針心をこめて縫ってくれた深紅の絹のチマ、アボジ(お父さん)が買ってくれた絹貼りの革靴コッシン、ハルモニ(おばあさん)に貰ったこうもり刺繍の飾りノリゲ…。韓国のお正月の晴れ着「ソルビム」を女の子が楽しそうに身につけていく絵本。衣装に込められた家族の愛情、新年を祝う心が伝わる。巻末に用語解説付。

男の子編として『ソルビム：お正月の晴れ着 2』*も出版されている。
*: セットには含まれておりません。お近くの公共図書館等をご利用ください。

アジアの遊び 1 (国際理解にやくだつ世界の遊び 1)

大貫美佐子 監修

ポプラ社 1998 年

誰でも簡単にできる世界の遊びをイラストと写真で紹介。世界各地で共通な遊びもあれば、その国に独自の遊びもある。韓国については、羽を足で飛ばすチェギはね、お手玉と似たコンギノリなど 11 の遊びを紹介している。

世界の料理いただきまーす。：中国・韓国

尾崎曜子 編+絵

アリス館 2001 年

世界各国の郷土料理の作り方をその国出身の人に教わり、紹介するシリーズの 1 冊。とりあげるのは、中国の水餃子や韓国のビビンバなど、

すべて日本でもなじみがあり、身近な食材で実際に作ることができる料理ばかりの計 9 品。料理や食文化だけでなく、その国の地理や生活、あいさつなどについても簡単に触れている。

アジアのお菓子 1 (どんな国? どんな味? 世界のお菓子 1)

服部幸應, 服部津貴子 監修・著

岩崎書店 2005 年

子どもたちが大好きなお菓子。世界中のお菓子を紹介するシリーズのアジア編の第 1 巻は中国のごま団子、韓国の小豆がゆなどを紹介。各国のお菓子の由来や、食文化の説明のほか、材料や作り方について料理学校の先生が丁寧に解説しているので、とてもわかりやすい。

韓国・北朝鮮の鉄道: 韓国高速列車 KTX・朝鮮鉄道 (鉄道でアジアが見える!: 鉄道で知る各地のくらしと文化)

秋山芳弘 著 こどもくらぶ 編

旺文社 2005 年

鉄道から各地のくらしと文化を知るシリーズ。韓国の鉄道では、2004 年に営業運転を開始した高速列車 KTX 開業後の変化を中心に紹介。KTX はアジアで日本について 2 番目の高速鉄道。将来的には中国、ロシアからヨーロッパへ直結という構想の下に開業した。北朝鮮の鉄道は、非武装中立地帯の駅の様子、中国からの国際列車、地下鉄の乗車体験記を載せている。車両や路線表、列車編成図、駅舎と鉄道に関する写真やデータも充実。鉄道用語解説もあり。

中国「世界遺産」の旅 第 1 巻 (北京・河北・東北)

平山郁夫, 樋口隆康 監修 石橋崇雄 編著

講談社 2005 年

中国の 31 の世界遺産を 4 巻組で紹介するシリーズの 1 巻目。万里の長城や周口店の北京原人遺跡など、北京・河北・東北地方に所在する 8 つの世界遺産を全ページカラーで紹介する。解説文は詳しく書かれていて読みごたえがあるが、大判の写真をながめるだけでも十分楽しめる。巻末に、名勝・史蹟ガイドと年表あり。

東アジアと日本の音楽 (国際理解に役立つ世界の民族音楽 1)

井口淳子 著 こどもくらぶ 編

ポプラ社 2003 年

中国、モンゴル、韓国、日本の民族音楽を紹介した資料。全 6 巻のうちの第 1 巻。民族楽器の写真や楽譜が掲載されており、付録の CD では実際にそれらの楽器の音や曲を聴くことができる。音楽を通して、その国の文化を知ることができる。

中国の漢字と中国語 (世界の文字と言葉入門 2)

小林二男 監修 稲葉茂勝 著

小峰書店 2004 年

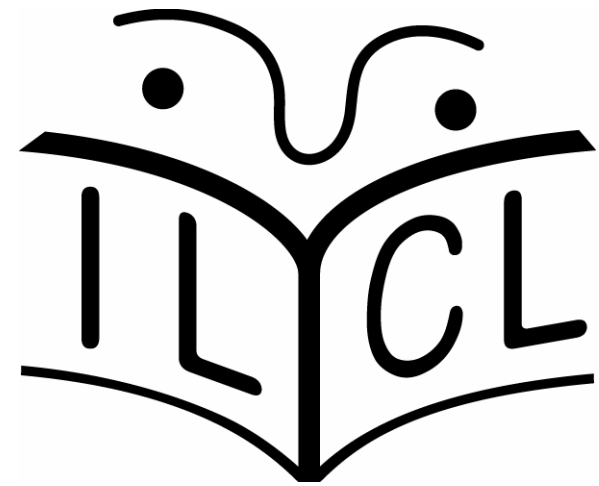
日本でも使われる漢字の中国での使用法と中国語の文字を紹介する本。看板など身近なものから中国の漢字を探すページや、日本と同じ漢字で意味の違うものを探すページ、中華料理を漢字からあてるページなど、中国の簡体字を含めた漢字をクイズを解くように親しむことができる。また中国の少数民族ナシ族が今でも使う生きた象形文字「トンパ文字」を紹介する。中国語でじゃんけんをしたり、絵のようなトンパ文字を書いたりして楽しく中国語に触れて欲しい。CD 付。

朝鮮半島の文字「ハングル」と言葉 (世界の文字と言葉入門 3)

野間秀樹 監修 こどもくらぶ 著

小峰書店 2004 年

「ハングル」の基本的な構造やその発音と、簡単な言葉を紹介する。あいさつの言葉のページでは礼儀作法、料理の単語のページでは食事のマナーなどが合わせて解説されており、言葉と同時に朝鮮半島の生活や文化についても知ることができる。巻末には用語索引とともに、日本語から韓国・朝鮮語への索引もある。CD 付。



子どもの本は世界をつなぎ、未来を拓く！

国立国会図書館 国際子ども図書館
児童サービス課 企画推進係
〒110-0007
東京都台東区上野公園 12-49
TEL : 03 - 3827 - 2053
URL : <http://www.kodomo.go.jp/>

2008 年 12 月

※この冊子は返却する必要はありません。